

科目名	化 学		科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎的教育科目 <input type="checkbox"/> 専門教育科目 <input type="checkbox"/> 卒業必修 <input type="checkbox"/> 栄養士必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Chemistry	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年	
ナンバリング	BE140E	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
ふりがな	かわい きよひろ	授業形態・修得単位	2 単位	
担当教員名	川合 清洋	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用	
		実務家教員担当科目		
授業のテーマ	食の科学について化学を通して、調理・加工の変化を理解できるようにする			
授業概要	物質の成り立ちを調べると共に化学変化・反応がどのようにして起きているかが理解できるように解説する			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造が理解できる ・化学の基本事項ができる ・化学物質の反応の仕組みが理解できる 			
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、テキストの購読（1時間） ・事後学習として、テキストの章末問題に取り組む（1時間） 			
履修条件	高校時の化学基礎の内容を十分に理解していること			
授業計画				
第1回	テーマ： ガイダンス、化学を学ぶにあたって、栄養との関わり			
第2回	テーマ： 生命のもと“水”について			
第3回	テーマ： 水の状態、水の三態			
第4回	テーマ： 元素と原子			
第5回	テーマ： 周期表について			
第6回	テーマ： 分子の構造式・示性式・分子式			
第7回	テーマ： 溶液の濃度 —溶液・溶質・溶媒—			
第8回	テーマ： 密度と比重			
第9回	テーマ： 栄養領域の中に濃度			
第10回	テーマ： 溶液の性質の考え方、小テスト			
第11回	テーマ： 沸点・凝固点			
第12回	テーマ： 浸透圧について			
第13回	テーマ： 溶解度について			
第14回	テーマ： 電離度とは…			
第15回	テーマ： 酸・塩基について			
第16回	定期試験			
テキスト	土井純子 「基礎化学」 羊土社			
参考文献・資料	中川徹夫 「化学の基礎」 化学同人			
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
オフィスアワー	水曜日 16:30～17:30			
受講生に望むこと・受講のルール	化学的視点で物事を見ることができるようになること			